

他者の意見と自分の意見を比較・整理し、検討しようとする意欲と態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 丹波市立和田小学校 安田 翔

本時の目標 ・町づくりの取組について調べたことをもとに、グループで話し合い、提案することを考えることができる。	校種・学年	小学校・6年
	教科・領域	国語・町の幸福論(東京書籍)
	アプリ・ソフト	・Google スライド ・Google Meet
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○本時のめあてを確認する。 集めた情報を整理して、そこからどのような提案ができるかを考えよう ◆グループごとに管理している Google スライドで情報を整理させる。
展開	○グループで決めたテーマにあった提案ができるように話し合う。 ◆不要になったスライドは、すぐに削除せず、不可視化するように伝える。 ○必要に応じて、役割分担（司会、記録、発言）するように促す。 ◆家庭からの参加者は、Meet とスライドの画面をタブ切り替えしながら、授業に参加させる。
まとめ	○各グループで提案内容を確認、それぞれの役割について確かめる。 ◆必要なグループは、家庭でスライドづくりに取り組んでよいことを伝える。

育成できる情報活用能力

◎クラウドを用いた協働作業：共有された情報をもとに、他者と納得解に向けた話し合いをすることができる。

育成できる情報活用能力

◎情報を整理する際に、選択しなかった情報を残しておくことで、後で修正を加える際に役立つというアプリを効果的に活用する知識を習得する。

育成できる情報活用能力

◎クラウドを用いた協働作業。離れた場所にいる他者と協働的に作業を進めようとする意欲や態度、またその方法理解。

オンラインで参加 

児童の感想
・学校だけじゃなく、家でも調べてまとめたものを使って学習できるので楽しかった。 ・友達のスライドや集めた資料があると自分が調べたり、まとめたりするときにとっても参考になったので良かった。 ・学校に行けなくても、家から学習に参加できるので嬉しかった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・スライドをグループで管理、運営していくことで、成果物を共有することへの責任、協働学習で自分の役割を果たそうとする意欲と態度を身に付けることができる。
- ・他者と自分のスライドをグループで比較・整理し、検討することで、より良い情報活用の仕方を考えることができるようになる。

分類 B-1-①

必要な情報を収集、整理、分析、表現する力

伝記から人物像の根拠となる情報を収集し、ピラミッドチャートを用いて情報を取捨選択する

HYOGO スクールエバンジェリスト 三田市立すずかけ台小学校 経広 佑介

<p>本時の目標</p> <p>・手塚治虫の人物像を表す根拠となるカード(出来事、行動・言動、周りの人との関わり)をピラミッドチャートに整理し、人物像が伝わる論理的なプレゼンとなっているかをお互いに確かめ合う。</p>	<p>校種・学年</p> <p>小学校・5年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>国語</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・ミライシード(オクリンク)</p>
	<p>備考</p>

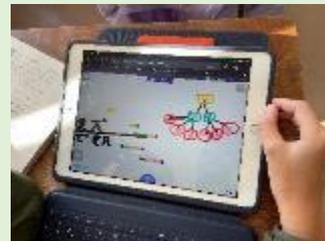
○本時の展開

	<p>○学習活動(◆指導上の留意点)</p>
<p>導入</p>	<p>○ボードにあるカード(前時までに作成)を操作してピラミッドチャートに並び替える。</p>
<p>展開</p>	<p>ピラミッドチャートに整理して、人物像につながる根拠となっているか話し合おう</p> <p>○ピラミッドチャートをペアで見せ合いながら、話し合い、スライドを修正したり補ったりする。</p> <p>◆人物像を表す根拠につながらないカードはピラミッドチャートに使わない(取捨選択する)ことを伝える。また、人物像を表すにあたり、足りない根拠があれば、今後補う必要があることにも気づかせる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○カードを並び替えてプレゼンを作り、ふりかえる</p> <p>◆次時は並び替えてつなげたカードを使ってミニプレゼンをすることを伝える。</p>

育成できる情報活用能力

◎作成したカードを自分で操作し、ピラミッドチャートに整理して可視化することで、論理的な構造になっているかどうか確かめ合うことができるようにする。

プレゼンに必要なカードを分けている



根拠のカードが多く、プレゼンにむけて情報をけずる必要がある



育成できる情報活用能力

◎ピラミッドチャートの頂点から順にカードを並び替えてつなぎ合わせることで、論理的な(ミニ)プレゼンテーションスライドを作成することができる。

児童の感想

・たくさんあるカードをくっつけるだけじゃなくて、ピラミッドチャートを使ったことで、自分がどんなプレゼンにしたいかを考えながらならべることができました。

・次回の自分で選んだ伝記でも同じようにつくれるようにしたいです。

<情報活用能力の育成とその効果>

・色分けしたカードをピラミッドチャートに整理することで、人物像とその根拠がリンクしているかが視覚化され、取捨選択が容易となる。

・筋道立った論理的なプレゼンをつくる際には、一度ピラミッドチャートに自身の思考を構造化することが有効である。

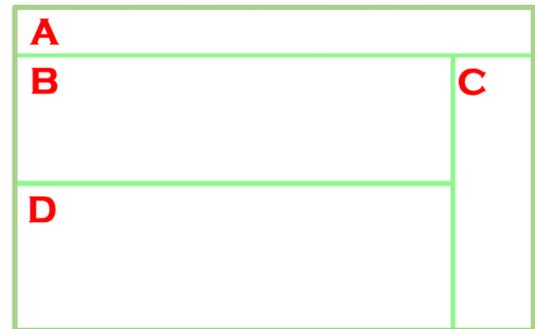
他者との交流を通して新たな視点に気づき、アウトプットを改善していく力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 姫路市立 大津小学校 谷川 雅敏

<p>本時の目標</p> <p>・クラスみんなの物語の感想を読み、自分に近い意見や、自分では考えつかなかった意見に触れることで、自分の感想に書き足したり、書き直したりすることができる。</p>	<p>校種・学年</p> <p>小学校・5年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>国語</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・Google Jamboard</p>
	<p>備考</p>

○本時の展開

	<p>○学習活動（◆指導上の留意点）</p>
<p>導入</p>	<p>○Google クラスルームから資料を受け取る。</p> <p>物語の感想を書いて交流しよう</p> <p>◆Jamboard を、出席番号 01～20 用と出席番号 21～40 用の 2 枚配布する。</p>
<p>展開</p>	<p>○物語の感想を書く。</p> <p>◆出席番号の頁が自分の担当する頁であることを知らせ、名前を A、感想を B に書かせる。</p> <p>○自分以外の頁を開いて、読んでいく。</p> <p>◆友達の見解を読んで、自分と同じ意見なら■、なるほどと思った意見は■…と使う付箋の色を指定し、その付箋に自分の名前を書かせ、C に貼らせていく。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○再度、物語の感想を書く。</p> <p>◆上記の活動で得た気づきを生かして、D に再度、物語の感想を書くよう指示する。</p>



↑児童に配る Jamboard のスライド

育成できる情報活用能力

◎他の児童の意見に触れる中で、自分と同じ・ちがう・自分では思いつかなかった等に、グルーピングすることができる

児童の感想

- ・同じ意見だった子の付箋がたくさん貼ってあって嬉しかった。
- ・水色の付箋を貼ってくれていた子の頁を見たら「○○さんのとらえ方が素敵だと思いました」と書いてくれていて、嬉しかった。
- ・みんなの頁を見たことで、D 欄が B 欄よりもよくなったと思う。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・オンラインでのデータの共有、共同作業は、ノートに書くよりも抵抗感が少なく、簡単に自分以外の児童の意見に触れることができる。
- ・付箋機能により、友達に感想を貼ってもらうことで、フィードバックをすぐに受けられることができる。

自分の文章と他の人の文章を比較しながら、教材文の要旨に必要な要件を考える

HYOGO スクールエバンジェリスト 西宮市立今津小学校 和田 宗士

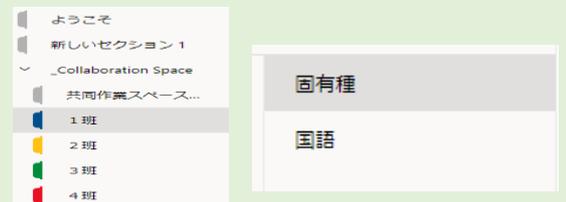
本時の目標 ・文章と資料とを結び付けたり、その効果を考えたりして、論の進め方を捉え、要旨をまとめることができる。	校種・学年	小学校・5年
	教科・領域	国語・説明文
	アプリ・ソフト	・One Note
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○前時までの、学習内容をふり返し、本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">資料の効果について考え、要旨をまとめよう</div>
展開	○どんな資料が提示されているか確認し、その効果について考える。 ◆資料が何点あるか、本文のどの部分と対応しているかを事前に確かめておく。 ○要旨をまとめ、要旨をまとめるために必要な要件を共有する。 ◆字数制限をし、必要な要件の優先順位を意識させる。 ◆OneNote の共有スペースを活用し、効率的に互いの文章を比較できるようにする。
まとめ	○本時をふり返し、次時の見通しを持つ。 ◆本文の構成や資料の効果、要旨をまとめる際の要点について、これまでの学習内容を整理しながら改めてまとめる。

育成できる情報活用能力

◎自分の書いた文章と他の人が書いた要旨について、OneNote で共有し、共通している部分や異なっている部分に着目させることで、他人との書きぶりの違いから改めて自分の書いた内容を検討し、要旨をまとめるための要件について考える事ができる。



固有種
2022年8月1日 11:29

日本には、固有種がたくさん生息するゆたかな環境があるから、固有種がすむ日本の環境を、できる限り残していかなければならない。

固有種が住む豊かな環境を残していかなければならない。なぜなら、日本の豊かな自然が守られたらというので、この環境を守ることがみんなの責任だからです。

数万年から数百万もの間生き続けてきた固有種は、生物の進化や日本列島の成り立ちの生き証人としてきょうな存在です。また日本列島のゆたかで多様な自然環境が守られていることのおかげでもあります。私たちは固有種が住める日本の環境を出来る限り残していかなければなりません。それが私たちの責任ではないのでしょうか。

児童の感想

・ホワイトボードよりも、より手短かに交流できる。また、より一人一人の考えをじっくり見ることができる。
 ・ホワイトボードだと、交流が終わったあとに内容が消えてしまうが、OneNoteだと、あとからゆっくりと見ることができる。

<情報活用能力の育成とその効果>

・ホワイトボードを用いて共有していたときよりも、OneNote を活用することで、それぞれがどのように考えたか、その違いをより早く、より明確に認識しやすくなった。また、よりたくさんの考えに触れることで、より広い視点で自分の考えを分析することができた。

他者と協働的に学ぶ基礎となる知識及び技能の習得

HYOGO スクールエバンジェリスト 豊岡市立八条小学校 山根 啓樹

本時の目標 ・季節に関係する事柄を、教科書を元に考えることができる。 ・考えた事柄をグループで出し合い、分類や整理をすることができる。 ・自分と他者の考えに折り合いをつけ、グループで意見をまとめることができる。	校種・学年	小学校・2年
	教科・領域	国語(生活)・きせつのことば
	アプリ・ソフト	・Google Jamboard
	備考	

○本時の展開

○学習活動 (◆指導上の留意点)	
導入	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> きせつのことばをあつめよう。 </div> ○教科書を参考に季節を表す言葉を考えさせる。 ◆教科書の二次元バーコードから資料を見てもよいことを伝える。
展開	○グループで意見を出し合い、シンキングツールで整理する。 ◆同じ意見が出て来ても、それぞれを尊重するように促す。
まとめ	○グループ毎に意見をまとめた Jamboard を見合う。 ○本時の学習をふり返り、感想を書く。 ◆ふり返りのリード文を工夫し、類似点や相違点に触れるように促す。 例) 考えをくらべてみると…

育成できる情報活用能力

- ◎自分に必要な情報を集めることができる。
- ◎情報を集める手段を選択することができる。

育成できる情報活用能力

- ◎クラウドを用いた協働作業に取り組むことができる。
- ◎GoogleJamboard の操作方法を習得することができる。



児童・生徒の感想
・同じことや違うことがあって面白かった。 ・班のみんな考えて、まとめることができた。 ・班ごとに意見が違って面白かった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・自分が情報を得るためには、どの方法が適しているのかを考えることができる。
- ・意見を協働的にまとめていくために必要な基礎的な操作方法を知り、実行することができる。
- ・他者の考えを受け入れようとするすることができる。